

## 分科会設置申請書（継続）

2024-2025 年度の分科会設置（継続）を申請いたします。

分科会名称：環境アレルギー分科会

代表者：平 久美子（東京女子医科大学）

副代表：野崎淳夫（東北文化学園大学大学院）

幹事 山野裕美（東京環境アレルギー研究所）

メンバー氏名：谷口正実(国立病院機構相模原病院臨床研究センター)、渡井健太郎（湘南鎌倉総合病院免疫アレルギーセンター）、角田和彦（かくたこども & アレルギークリニック）、阪口雅弘（東京環境アレルギー研究所）、白井秀治（環境アレルギー info and care 株式会社）、高岡正敏（（株）ペスト マネジメント ラボ）、東賢一（近畿大学）、高野裕久（京都先端科学大学）、釣木澤尚実（国立病院機構横浜医療センター呼吸器内科）、高鳥浩介（NPO カビ相談センター）、竹熊美貴子（埼玉県衛生研究所）、関根嘉香（東海大）、高橋久美子・成田泰章（暮らしの科学研究所）、篠原直秀（産業技術総合研究所）、吉野博（東北大学）、池田耕一（日本大学）、一條祐介・二科妃里（東北文化学園大学大学院）、鍵直樹（東京工業大学）、柳宇（工学院大学）、長谷川兼一（秋田県立大学）、三田村輝章（前橋工科大学）、金勲（国立保健医療科院）、林基哉（北海道大学）、長谷川麻子(宮城学院女子大学)

### 設置目的

日本臨床環境医学会の会員である医学、物理・化学、建築の各分野の専門家が、環境中のアレルギーと空気汚染物質の特性および室内環境中の汚染実態について最新の知見を持ち寄り、どのように住まうことで環境アレルギーによるアレルギー疾患を改善予防できるのかを明らかにし、社会に向けて情報発信をする。今までに、活動報告書「環境アレルギー問題の現状と課題－各種アレルギーに対応した原因と対策の横断的取り組み」の公表、教科書「住まいのアレルギー対策－室内環境からのアプローチ」の出版などの実績がある。

### 活動計画

1. 教科書「住まいのアレルギー対策－室内環境からのアプローチ」の一般向けのダイジェスト版を、当分科会の「提言」として作成し、学会ホームページに掲載する。
  2. 第 31 回日本臨床環境医学会学術集会において当分科会主催のシンポジウム「環境中微粒子の健康影響－CREST 研究に学ぶ」を開催する。
  3. 引き続き対面またはオンラインによる勉強会を1-2ヶ月に1回開催する。
  4. 外部講師を招聘して勉強する。
- 2, 3, 4につきまして、今年度もご支援をどうぞよろしくお願いいたします。 以上